

返却されたテストの行方はどうなる？

6月14日（水）

中間テストが終わり、ほとんどの教科で中間テストが返ってきたのではないのでしょうか。昔からテストを返してもらった時、周りの子に点数を見られても気にならない生徒、点数の部分を三角に折り曲げて先生の解説を聞いている生徒、クシャクシャにして机の中に入れてばなしの生徒、など三者三様です。しかし、定期テストの答案には、次のテストで得点をアップさせるコツが隠されています。定期テストの答案を活用した復習法と勉強の改善法を紹介します。



テストで間違えるパターンとしては、「うっかりミス」「見たことはあるけど、解き方を間違えてしまった」「そもそもまったくわからなかった」の3つがあります。自分の答案を見直して、どのパターンの間違いが多いかを調べてみましょう。また、「実はわからなかったけど、たまたま正解した」という問題もあるかもしれないので、間違えた問題以外にもチェックすることを忘れずに。うっかりミスは、テスト中に焦ってしまう人に多く見られます。「そもそもまったくわからなかった」という問題が多い人は、足りていない知識を基本から覚え直す必要があります。教科書や授業ノートの見直しから復習を始めましょう。まったくわからない状態では復習もできないので、得意な友だちの力を借りたり、先生に質問したりするのも一つの手です。また、部活で疲れて自宅で勉強できていなかったり、授業中にウトウトしてしまったりしていませんか？

「疲れていたら、早めに寝て、朝勉強する」「休日に多めに勉強する」など、自分の生活サイクルを改善し期末テストにむけて頑張っていきましょう。期末テストは7月5日（水）～7日（金）実施予定です。

また本日は『人権 happiness』（丹波市地域人権教育事業）の開級式が行われました。青垣中学校では、人権について考え、主体的に活動する自主組織の伝統が続いています。この青垣中学校の伝統を生かし、人権について考える自主的な組織をつくろうと結成されたのが『人権 happiness』です。



2005年、丹波市では、「いのちと人権を大切に作る心を育てる」ことを中心にした「生き方を育む校区事業」が始まりました。青垣中学校のすべての生徒を対象として、人権について考え、学ぶ自主的な組織を作ることとなりました。この組織が『人権 happiness』です。今年度



は、23名が参加してくれます。現地学習会や丹波市人権交流集会に参加し人権について学びます。『人権 happiness』で自主的に人権について学習し、身近な差別を許さず、考えて行動できる活動に全校生徒でしっかり取り組んでいきましょう。